18

火力・原子力・水力発電所などの運営・管理

発電のために、発電設備をメンテナンスする

電力会社 社員

こんな人に向いています

- □ 社会の役に立ちたい
- □ 自分が生まれ育った宮城が好き
- □ エネルギーに興味がある
- □ ものを動かすことが好き
- □ 物事に根気よく取り組める

大切なエネルギー・電気を届けるために発電設備の安全を保っています

発電所にあるさまざまな機械のメンテナンスを行っています。電気をつくる方法はさまざまありますが、私が働いている新仙台火力発電所では、天然ガスを燃料に発電。具体的には、燃料を燃やした熱で水から蒸気を作り、その蒸気を使って電気を生み出しています。発電所で作られた電気はみなさんの生活を支えるとても大切なエネルギー。さまざまな機械を安定して使用できるよう、常に責任感を持ちながら日々の仕事に向き合っています。自分で計画した工事やメンテナンスを無事にやり遂げたときにやりがいを感じます。

この仕事についたきっかけ

東日本大震災で停電を経験。当たり前の日常が当たり前でなくなったことで、電気を通じて社会を支える人の存在に気付きました。その経験をきっかけに、電気で人々の日常を守る仕事に就きたい、生まれ育った故郷・東北の地で働きたいと思ったことで、東北電力に入社しました。

入社6年目
塩谷 真仁（シオヤ マサヒト）さん

必要な資格・スキル、役に立った経験

- 電気主任技術者（第3種）
- 電気工事士（第1種、第2種）
- 危険物取扱者（乙種4類）
- 高専（電気科）の学習

お仕事の流れ

工事の計画、予算決め

機械を安定して使用できるよう、工事やメンテナンスを計画しています（予算決め）。特に、数年に一度の大がかりなものでは、たくさんの関係者の方と連携して、計画を進めます。

工事現場の安全指導

さまざまな機械のメンテナンスは、外部の工事会社さんに協力してもらい作業しています。安全に作業できるよう環境を整えるのはもちろんのこと、定期的に打合せを行います。

発電設備のメンテナンス

発電所には、電気を作るための機械が100以上あり、それらすべてを決められた周期で点検し、安全を保っています。現場では常に最適なメンテナンス方法を考えています。

発電設備のパトロール

機械が問題なく動いているか、異常が発生していないかどうか、日々のパトロールが欠かせません。目で見て、耳で聞いて、触るなど、五感を研ぎ澄ませながらしっかりと確認しています。

東北電力株式会社ではこんなこともしています

発電所で電気を「つくる」仕事以外にも、東北6県と新潟県にさまざまな事業所があります。会社全体の事業計画を立てて進めていく仕事や、発電所で使う燃料を海外から調達する仕事、お客さまと電気の契約を結び、電気の使い方をご提案する仕事、地域と会社とのつながりを深めていく仕事など、総合職（事務）・技術職ともに、さまざまな仕事をしています。

グループ会社ではこんなこともしています

送電線、変電所、電柱などの設備を通じて電気を「おくる」仕事は、東北電力のグループ会社である「東北電力ネットワーク株式会社」が担っています。新しい送電設備をつくったり、故障や停電が無いように設備を点検・修理したり、電気をつくる量と使う量のバランスを調整したりなど、電気をみなさんにお届けするためにさまざまな仕事があります。

地域のために活動もしています

次代を担う中学生のみなさんに、作文を通じて自分の将来や地域の未来について考えてもらうことで、心豊かに成長していただきたい。そんな願いを込めて中学生作文コンクールを主催するなど、さまざまな地域支援活動を行っています。

他にもこんな仕事があります

- DXの推進
- 再生可能エネルギーの導入
- 広報・広告制作　ほか多数

塩谷さんからの
メッセージ

東北電力株式会社

仙台市青葉区本町 1-7-1
TEL ／ 022-225-2111
創業／ 1951 年 5 月 1 日
https://www.tohoku-epco.co.jp/

より、そう、ちから。
東北電力グループ